

# 4月にあったスマホ、インターネット等に関するニュース一覧

29年4月の各新聞に掲載された記事の中で、今年度の「青少年のネット非行・被害対策情報」で未配信の情報を一覧にしました。

## ●少女にわいせつ行為疑いで県内の男逮捕

5日、県青少年愛護条例違反の疑いで県内の20代男性を逮捕した。2月中旬ごろ、18歳未満の少女と知りながら、県内のホテルでわいせつな行為をした疑い。少女とは会員制交流サイト（SNS）を通して知り合った。

（福井新聞4/6掲載記事から）

## ●リベンジポルノ容疑、県内の男を再逮捕

7日、知人女性の裸の画像をインターネット掲示板に投稿したとして、リベンジポルノを規制する私事性的画像記録の提供被害防止法（通称：リベンジポルノ規制法）違反の疑いで県内の30代の男性を再逮捕した。

（福井新聞4/8掲載記事から）



## ●スマホ火傷に注意



スマートフォン本体の発熱に伴う低温やけどの相談が、今年3月までの約5年間で約190件寄せられていることが国民生活センターへの取材で分かった。ゲームアプリやテレビ電話などを約10分間使うと最大58度になることもあり、数分でやけどをする恐れもある。国民生活センターは「熱いと感じたら温度が十分下がるまで使用を控えてほしい」とのこと。

（県民福井4/9掲載記事から）

## ●ネット脅迫 摘発最多

警視庁サイバーセキュリティ対策本部のまとめによると、昨年1年間に摘発したサイバー犯罪のうち、脅迫事件は123件と前年と比べて28.1%の急増となった。統計を取り始めた2001年以降で最多。会員制交流サイト（SNS）へのしつこい書き込みなど、インターネットを使ったストーカー行為の増加が背景にあるとみている。

（福井新聞4/12掲載記事から）

## ●県内の特殊詐欺、前年同期に比べ被害5倍

福井県警が1～3月に認知した特殊詐欺の被害額が7千万円を超え、前年同期と比べ5倍以上に増加している。2億8540万円と最も被害額が多かった2014年に匹敵するペース。「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」が多く、架空請求詐欺の被害者はいずれもコンビニで電子マネーカードを購入し、番号を相手に教えるという手口で被害にあっている。

（福井新聞4/19掲載記事から）

### ●不正アクセス容疑で税関職員が書類送検

大麻密輸事件の捜査過程で、容疑者のID・パスワードを用いてサイトに無断で接続したとして、横浜税関の職員を書類送検していたことが22日関係者への取材で分かった。男性職員は3月、大麻を密輸して逮捕された容疑者のIDなどを使い、薬物取引のサイトに接続した疑いがある。

(県民福井 4/23 掲載記事から)

### ●無料通信アプリ大手、捜査協力は1200回線超え

無料通信アプリの大手運営会社は24日、犯罪捜査の過程で昨年下半年に国内外の捜査機関から利用者情報の開示請求が1719件あり、事件への関与が疑われる人物や被害者の情報など1268回線分の情報を提供したと発表した。捜査令状や国際的な捜査要請などには、社内の専門機関で審議した上で情報を開示するかどうか決定、誘拐、自殺予告など人命保護が急がれる場合も情報提供の対象になる。ただチャット内容については通常暗号化されており、原則として提供されていない。



(中日新聞 4/25 掲載記事から)

### ●人気若手女優やアイドルらの画像のぞき見疑い

24日、福岡県警は人気若手女優やアイドルグループのメンバーらが画像などを保存していたインターネットサーバーに不正ログインしたとして、福岡市内の男性を書類送検した。昨年5月から10月、自身のパソコンやスマホから女優など計15人のアカウントに侵入したとされる。



(中日新聞 4/26 掲載記事から)

### ●個人情報15万件流出か～Bリーグサイト～

チケット販売大手会社は25日、運営を受託するプロバスケットボール男子Bリーグの複数サイトから、クレジットカード情報などを含む個人情報約15万件が流出した恐れがあると発表した。チケット販売会社の発注先が構築・運用しているサーバーが3月上旬ごろから不正アクセスを受けた。

(中日新聞 4/26 掲載記事から)